一般社団法人日本トンネル技術協会
JAPAN TUNNNELLING ASSOCIATION

令和8年(2026年)3月11日
一般社団法人日本トンネル技術協会

JTA 表彰(令和8年度)の受賞者を決定しましたのでお知らせします。

一般社団法人日本トンネル技術協会(会長　菊川　滋)では、令和3年度から、トンネル技術や本会の発展に特別の功績、功労があった方々(個人、団体)を表彰しています。令和8年度から新たにトンネル施工等優秀技術者賞を設け、表彰することとしました。

今般、令和8年度表彰の受賞者を以下のとおり決定しました(業績及び授賞理由は、別紙参照)。

受賞者は、令和8年6月4日(木)に開催する本会定時総会(会場:主婦会館プラザエフ)において表彰します。

功績賞　2名

朝倉　俊弘　様　(特定非営利活動法人トンネル工学研究会)
山田　隆昭　様　(㈱ネクスコ東日本エンジニアリング)

功労賞　1名

入江　健二　様　(メトロ開発㈱)

トンネル施工等優秀技術者賞　4 名

西川　幸一　様　(鹿島建設㈱)
米沢　実　　様　(鹿島建設㈱)
木村　厚之様　(清水建設㈱)
村上　正一　様　(㈱大林組)

《制度の概要》

一般社団法人日本トンネル技術協会(会長　菊川　滋)では、令和元年度に策定した「JTA ビジョン」を踏まえ、令和 3 年度に「表彰制度」を設け、トンネル技術の発展に特に顕著な功績があったと認められる会員等に「功績賞」を、本会の発展に特別の功労のあった会員等に「功労賞」を授与してきました。今回から新たに「トンネル施工等優秀技術者賞」を設け、トンネル施工等の諸分野において特に優秀な技術を有すると認められる者を表彰することと致しました。

《選考の経緯》

令和 7 年 11 月 14 日から令和 8 年 1 月 30 日までの期間、令和 8 年度表彰の推薦を受け付けたところ、功績賞 2 件、功労賞 1 件、トンネル施工等優秀技術者賞 4 件の推薦がありました。

推薦内容に関して、本会理事会で慎重に選考を行った結果、今般、功績賞 2 名、功労賞 1 名、トンネル施工等優秀技術者賞 4 名の受賞者を決定しました。受賞者の概要は、別紙のとおりです。

【問合せ先】
〒104-0045 東京都中央区築地 2-11-26 築地 MK ビル 6 階
一般社団法人日本トンネル技術協会　表彰事務局(時政)
TEL:03-3524-1755　FAX:03-5148-3655　Email:hyosyo@japan-tunnel.org

別　紙

JTA 表彰の受賞者（令和8年度）の概要

功績賞　2名

表彰者（敬称略）	業　績　（授賞理由）
朝倉（あさくら）　俊弘（としひろ） （特定非営利活動法人トンネル工学研究会）	長年にわたりトンネルに関する研究に取り組み、技術の普及やトンネルの研究者・技術者の育成に努め、プロジェクトの推進と完成に尽力するなど、トンネル工学の発展に大きく寄与した。
	大学や研究機関で長年にわたり研究に従事し、技術基準類の制定や改訂に尽力し、また国内外の多くのプロジェクトにおいてトンネル設計施工に関する委員会の委員長等としてプロジェクトの完成と推進に寄与した。さらに日本トンネル技術協会をはじめとした多くの学協会活動に従事し、大学や研究機関で多くのトンネル技術者を育成、自ら非営利特定活動法人トンネル工学研究会を設立し、トンネル工学の知見普及に努めており、それらの功績から功績賞の授与に値する。
山田（やまだ）　隆昭（たかあき） （㈱ネクスコ東日本エンジニアリング）	長年にわたり高速道路トンネルの設計・施工技術の発展に尽力し、多くの標準化や技術革新を主導するとともに、点検・リニューアル指針の策定や委員会活動を通じトンネル技術の発展に大きく寄与した。
	地山状況に応じた合理的な標準支保パターンの導入や、高強度・高規格部材を用いた支保構造や中流動覆工コンクリートの標準化など、トンネル施工の安全性の向上や効率化、コスト縮減等に貢献し、高速道路トンネルの設計・施工技術の発展と点検・リニューアル技術の礎を築いた功績から、功績賞の授与に値する。

功労賞　1名

表彰者（敬称略）	業　績　（授賞理由）
入江（いりえ）　健二（けんじ） （メトロ開発㈱）	長年にわたり協会活動に参画するとともに、評議員、監事、事業委員会委員長を歴任し、協会の事業発展に大きく寄与した。
	日本トンネル技術協会の委員・役員等として 2002 年から現在に至るまで協会の発展、活性化に寄与している。事業委員長として施工体験発表会でのかかわりや、海外トンネル技術調査団の団長としての活動など、長き・多岐にわたり協会活動に貢献しており、その功労から功労賞の授与に値する。

トンネル施工等優秀技術者賞　4名

表彰者（敬称略）	業　績　（授賞理由）
西川（にしかわ）　幸一（こういち） （鹿島建設㈱）	山岳トンネルの施工分野において、特に優秀な技術を有すると認められる。
	道路・新幹線等の重要インフラトンネルで監理技術者、現場代理人として複数案件を主導し、投稿実績および土木学会賞（技術賞Ⅰ）等の受賞歴から技術的難易度の高いプロジェクトで顕著な成果を上げている。また、日本海沿岸東北自動車道、北海道新幹線など、国内の社会基盤整備への寄与度が大きく、施工・品質確保の観点で波及効果も高い。これらの技術実績から、トンネル施工等優秀技術者賞の授与に値する。
米沢（よねざわ）　実（みのる） （鹿島建設㈱）	シールドトンネルの施工分野において、特に優秀な技術を有すると認められる。
	東京湾横断道路のトンネル、都市部の大深度シールド、エネルギー導管など、社会的影響の大きい国内プロジェクトで監理技術者として中核的に関与している。また、トンネルと地下への筆頭執筆を含む投稿実績、土木学会賞（技術開発賞・技術賞Ⅰ/Ⅱ）や全建賞等の受賞歴から、創意工夫と成果の外部評価が明確である。これらの技術実績から、トンネル施工等優秀技術者賞の授与に値する。
木村（きむら）　厚之（あつゆき） （清水建設㈱）	山岳トンネルの施工分野において、特に優秀な技術を有すると認められる。
	高速道路・自動車専用道路トンネル等で監理技術者、現場代理人、統括工事長として複数案件を担い、投稿実績も多く、土木学会賞（技術賞Ⅰ）に加え、ロボット大賞・建設機械施工協会賞等の受賞歴があり、施工の省力化・安全性向上等の創意工夫が評価されている。国内プロジェクトへの寄与度が高く、当該技術の普及による社会的便益（生産性向上・安全確保）も期待できる。これらの技術実績から、トンネル施工等優秀技術者賞の授与に値する。
村上（むらかみ）　正一（しょういち） （㈱大林組）	山岳トンネルの施工分野において、特に優秀な技術を有すると認められる。
	鉄道・ダム再開発等の重要インフラ案件で監理技術者、現場代理人として施工を統括し、土木学会技術賞（2023 年、2024 年）や日建連表彰（土木賞）など外部表彰実績もあり、技術的成果と社会的貢献が大きい。国内プロジェクトへの寄与・社会的波及効果の観点で総合的に高く評価でき、これらの技術実績から、トンネル施工等優秀技術者賞の授与に値する。